

第2学年 特別の教科 道徳 学習指導案

1 主題名 「個性」について考えよう 【内容項目】 向上心、個性の伸長〈A-（3）〉

2 教材名 「優しさの光線」 作：上條 さなえ

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

向上心、個性の伸長とは、「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること（学習指導要領）」である。そのためには、自分の短所も個性の一つであると気づき、かけがえのない自分を肯定的に捉えたり、自分の長所を伸ばしたりする姿勢が求められる。

特に学校生活においては、職業や進路についての学習で自己を見つめ、充実した生き方を考えられるようにすることが求められる。その上で、自分の長所も短所も含めての個性を肯定的に捉え、固有の持ち味をよりよい方向へ伸ばし、輝かせようと思える機会をつくっていくことが重要であると考え、本主題を設定した。

(2) 生徒について

中学生は、学年が上がるにつれて、自己理解が深まり、自分なりの在り方や生き方についての関心が高まり、「人生いかに生きるべきか」といった命題にも真剣に取り組むようになる。そして、他者と同じように扱われることを嫌うようになり、自分の姿を自らの基準に照らして考え、その至らなさに思い悩むことも少なくない。

そこで、本授業では、誰にでも長所と短所を含めた個性があることを理解し、その個性をよりよい方向へ伸ばしていこうとする気持ちを考えたい。また、自分だけでなく、周りの人の存在や言動も自らの個性の伸長に関わっていることに注目するために、自らの個性を認められたいかについて考えられるようにしたい。

(3) 教材について

教材「優しさの光線」は、なかなか将来の夢が見えず、自信を失っている主人公が先生との関わりの中で、自分の「よさ」に気付いたり、それを生かしたいと思う向上心をもったりすることで、充実した生き方について考えることができる教材である。主人公の存在を多面的に捉えることによって、個性は「よさ」だけでなく、その人の短所も含めた固有の持ち味であることを気付かせたい。

また、主人公は先生に自分の個性を認めてもらうことでうれしさを感じていたが、実際、他者に個性を認めてもらうことについて、生徒に問題提起をし、話し合いの場を設ける。

(4) 指導について

まず、導入では「個性とは何ですか」と生徒に問い、それぞれの考えを答えてもらう。その答えは、長所と捉えられるものも短所と捉えられるものも出てくることが予想される。そのときに短所も個性であることに気付かせていきたい。

展開では、まず、主人公の個性について考える。長所だけが個性ではなく、短所も含めての個性であることを導入の話を用いて確認することで、主人公の「よさ」だけでなく部分にも目を向けさせたい。中心発問では、主人公の「空を見上げる」という行動がもつ意味を多面的に考えさせていく。さらに、他者に自分の個性を認められたいかについて、生徒に問題提起をし、多角的に考えさせて議論させていく。

終末は、本時で個性について感じたことや、自らの個性とどのように向き合っていきたいかを振り返らせたい。

4 本時のねらい

長所も短所も自分の個性であり、長所をさらに伸ばすのはもちろん、短所であっても、固有の持ち味としてよりよい方向へ伸ばしたいと思う向上心をもつことの大切さを感じられるようにしたい。さらに、個性に対する考え方や捉え方は人によって違うことを感じられるようにしたい。

5 「考え、議論する」道徳を実現させるための手だて

自分の個性を認められたいか、認められなくてもよいかについて考える際に、多面的・多角的に考えられるようにするために、心の数直線を用いて、それぞれの思いの詳細を交流できるようにする。

6 準備・資料

教師・・・ワークシート、コミュニティボール 生徒・・・タブレット端末

7 指導過程

時	段階	学習活動	具体的な手だて
	導入	1 個性について考える。 <ul style="list-style-type: none"> 自分のよさ 長所 短所 自分らしさ こだわり 	1 長所などのよい面だけでなく、短所や欠点であっても個性であることを確認したい。
		「個性」について考えよう。	
8	展開	2 翔（主人公）の個性を考える。 <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢がないこと 努力すること 自信がもてないこと 優しい 	2 多くの考えをテンポよく引き出すために、コミュニティボールを使用する。 2 翔の弱さに共感できるように、導入の短所や欠点も個性であると確認したことを想起する。
		空を見上げた翔は、どんなことを考えていたのでしょうか。	
18		3 翔の向上心について考える。 <ul style="list-style-type: none"> 今のまま、人に優しくしていきたい。 自分の個性を認められてうれしい。 空を見上げる＝前向きになっている。 	3 翔の向上心に注目するために、空を見上げる行動がもつ意味を考える。
		自分の「個性」を認められたいですか。	
28		4 自分の個性について考える。 <ul style="list-style-type: none"> 人に認められることは、とてもうれしいことだと思う。 個性の中でも、短所について認められると悲しくなってしまう。 	4 心の数直線を使って、認められたいか認められなくてもよいかの意思表示をするよう指示する。 4 人によって捉え方や感じ方の違いがあることに気付かせるために、少数意見や同じような意見に注目させる。
45	終末	5 振り返りを書く。 <ul style="list-style-type: none"> 良いところも課題も両方含めて、個性であることに気付けた。その両方を伸ばす気持ちをもっていきたい。 	5 本時を通して、個性について考えたことを振り返りに書かせる。

8 板書計画

